

# 令和5年度授業改善推進プラン 教科名 英語科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと」に関しては、意欲的に会話をする事ができているが、正確に話すことが課題である。</li> <li>・「書くこと」に関しても、書くようにする意欲はあるが、正確性に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内の言語活動を充実させていく。既習の文法事項を使った活動を計画的に毎時間、短時間で行うことで、定着を図りたい。また、パフォーマンステストを定期的に行うことで、生徒が抵抗なく会話ができるように工夫する。1～2項目程度の評価項目に絞り、生徒が目指す目標を明確にもしていきたい。</li> <li>・自己表現を自信をもって書けるように、ワークや授業プリントを利用して、添削する機会を多くしていく。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」に関しては、要点を押さえて聞くことができる生徒が多い。</li> <li>・「書くこと」に関しては、英作文しようとする生徒が多いが、生徒間で力の差が大きくなっている。正確に書くことに課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各授業で、自己表現できる英作文問題に取り組みさせる機会を作り、添削をしていくことで、正確に書く力を高めていきたい。</li> <li>・グループワークを通して、生徒同士で学び合い、間違いを訂正する力を身に付けさせる。</li> <li>・高校入試も視野に入れ、話す活動と書く活動を連動させて、トピックを決めて話したり書いたりさせる。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」に関しては、未だ苦手意識がある生徒が多い。</li> <li>・「話すこと」に関しては、あらかじめ準備されたものについてはできるようになった。</li> <li>即興的なやりとりに関して、未だ苦手意識がある生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内で、授業プリントなどを活用しながら、学習した事項を用いて書く機会を多く設ける。</li> <li>・定期的にまとまった量の英作文に取り組み、自分の考えを書く機会を設ける。</li> <li>○普段の授業の中で、即興的なやりとりを伴う活動を通して、即興的なやりとりへの自信を持たせる。</li> </ul>

\*すぐに取り組めることの前に○をつける